

2024年6月13日
'24-G1号

2024年度 生命保険に関する研究助成制度助成者の決定

公益財団法人生命保険文化センター（代表理事・浅野僚也）では、学術振興事業の一環といたしまして、主として若手研究者の生命保険およびこれに関連する研究を支援することを目的として、2001年度から助成金による学術助成事業を行っております。また、2021年度より若手研究者に加え、若干名の一般研究者（教授職）にも助成を行うこととしております。

当センター内に設置しております学識者を委員とする「学術振興委員会」における審議を経て、今年度は下記の13件（若手研究者7件、一般研究者6件）に助成を行うことを決定いたしました。

注) 研究助成制度につきましては、当センターホームページに掲載しております。

<https://www.jili.or.jp/workshop/josei/index.html>



記

2024年度 助成者・研究テーマ

(氏名五十音順にて掲載)

【若手研究者】

No.	氏名	大学・学部	役職	研究テーマ
1	荒木 千秋	大阪電気通信大学 メディアコミュニケーションセンター	無期特任講師	大学生の保険知識と加入行動:コンピュータ基礎教育への応用
2	岩城 円花	東北大学 大学院法学研究科	助教	保険金請求権の特別受益の持ち戻しに関する規律 —アメリカ法との比較から—
3	熊代 拓馬	神戸大学 大学院法学研究科	准教授	商取引における不実表示の重要性(materiality) —保険法と証券法を対象に
4	鄭 燦玉	立教大学 法学部法学科	助教	助言義務に関するドイツ保険契約法の新規制
5	ダヴィデ・レイジ・トタロ	一橋大学 社会科学高等研究院	助教	EUにおける新AI規制が生命保険事業に及ぼす影響とその法的分析
6	湯山 智教	専修大学 商学部	准教授	機関投資家による非伝統的資産投資に関する研究
7	劉 熾妮	法政大学 大学院法学研究科	博士課程後期	「突然死」と傷害保険における外来性要件——日中比較法を中心に

<次ページへ続く>

【一般研究者】

No.	氏名	大学・学部	役職	研究テーマ
1	畔上 秀人	東洋学園大学 現代経営学部	教授	個人の金融資産選択に親が与える影響の国際比較研究
2	石原 卓典	京都先端科学大学 国際学術研究院	准教授	後期高齢者の生命保険加入状況および生活意識の調査分析—個表データ解析—
	西村 周三	京都大学/ 京都先端科学大学	名誉教授/ 名誉教授	
3	尾崎 祐介	早稲田大学 商学学術院	教授	努力不確実性が予防行動に与える影響
4	永野 護	成蹊大学 経済学部/ アジア太平洋研究センター	教授/ 所長	生命保険需要と行動バイアス: 保険支払事由の過小評価と加入率の研究
5	三宅 新	北海道大学 大学院法学研究科	教授	契約上のオプリーゲンハイトによる約款規制と片面的強行規定との関係
6	宮崎 裕介	日本大学 法学部	教授	保険契約者配当の法的位置付けと規制のあり方—一会社法の規律と保険会社の特性との比較の観点から

以上

本件に関するお問い合わせ先
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-4-1
公益財団法人 生命保険文化センター
保険研究室 研究助成係 (TEL: 03-5220-8512)